

新・さっぽろ 子ども未来プラン

(平成27年度～平成31年度)

平成27年(2015年)3月

札幌市



INTRODUCTION

はじめに

札幌市を取り巻く社会経済情勢は、少子高齢化の急速な進行に伴い、平成27年頃をピークに、市制施行以来、初めて人口減少傾向に転じるなど、今後これまでにない大きな変化が見込まれており、市民の暮らしや地域経済に様々な影響を与えることが予測されます。

しかし、こうした状況にあっても、都市の魅力・活力や生活の質を高め、将来にわたってこのまちの輝きを、良好な形で次世代に引き継いでいかなければなりません。

そのために私たちは、常に札幌の明日をつくる子どもたちが、笑顔で生き生きと幸せに暮らす姿を思い描きまちづくりを進めるなかで、子どもを生み育てやすい環境を整備することやふるさと札幌・北海道の魅力を語り、磨き上げることでできる自立した大人へと子どもたちを育むことが重要だと考えます。

また、このような札幌市の子どもへの思いを、平成20年に「子どもの最善の利益を実現するための権利条例」として形にしてきたところです。

これからも、いじめや児童虐待などの子どもの権利侵害や仕事と子育ての両立など、札幌市における諸課題を見極め対応していくとともに、平成27年4月から新たに始まる幼児期の教育・保育や子育て支援の質と量の充実をねらいとする「子ども・子育て支援新制度」を適切に運用しながら、子どもの育ちや子育ての環境をより一層充実させてまいります。

そのため、これまでの子ども関連施策の評価や市民ニーズなども踏まえたうえで、平成27年度から平成31年度までを計画期間とする、「新・さっぽろ子ども未来プラン」を新たに策定しました。

今後は、この計画に基づき、子どもを含む市民や企業、関係団体と連携・協力しながら、計画の基本理念である「子どもの権利を尊重し、子どもの輝きがすべての市民を笑顔で結ぶまちの実現に向け施策を推進してまいります。

最後に、この計画の策定に当たり、札幌市子ども・子育て会議や札幌市子どもの権利委員会の委員をはじめ、意見交換に参加し、パブリックコメントに意見を寄せてくれた子どもたち、多くの市民の皆様や関係機関、団体の方々から多大な御協力を賜りましたことに、心から感謝申し上げます。

平成27年3月



札幌市長 上田 文雄

CONTENTS 【目次】

第1章 計画の策定について 1

- 1 計画策定の背景及び趣旨 2
- 2 計画の位置付け 3
- 3 計画の対象 3
- 4 計画期間 3
- 子ども・子育て支援新制度とは 4

第2章 札幌市の現状 5

- 1 「推進計画(第1次)」及び「未来プラン(後期計画)」の評価 6
 - 1 計画の概要 6
 - 2 計画の主な取組 6
 - 3 計画における成果指標の達成状況 9
- 2 札幌市の子ども・子育ての現状 12
 - 1 子どもの現状 12
 - 1 子どもの育ちに関すること 12
 - 2 子どもの権利に関すること 18
 - 2 子育て家庭の現状 27
 - 1 世帯構成に関すること 27
 - 2 就労に関すること 28
 - 3 保育サービスに関すること 30
 - 4 子育ての悩みに関すること 31
 - 3 少子化の現状 35
 - 1 出生に関すること 35
 - 2 婚姻等に関すること 37
 - 3 市民意見に関すること 39

第3章 計画の施策体系 41

- 1 基本理念 42
- 2 基本的な視点 42
- 3 基本目標 43
- 【施策体系】 44

第4章 具体的な施策の展開 45

- 基本目標1：子どもの権利を大切にする環境の充実 46
 - 基本施策1：子どもの権利を大切にする意識の向上 48
 - 基本施策2：子どもの意見表明・参加の促進 50
 - 基本施策3：子どもを受け止め、育む環境づくり 53
 - 基本施策4：子どもの権利の侵害からの救済 58

